

概要 毎年続けてきた保

全地の棚田効果が出始め、乾燥化した林床に水が広く行き渡りました。その結果かなり広い面積に水芭蕉の開花が認められました。しかしまだ十分ではなく引き続き土の盛り上がったところに水を引きました。

作業 林床に溜まった水が溢れ出している、側溝沿いの護岸工事に着手しました。数年前に小石を入れたのですが今年は麻袋に土を詰め応急手当をしました。水芭蕉の芽が出ているのでそれを除けながらでたいへんです。高田さんご苦労様でした。植生調査 5ヶ所四方に区切って、数年つづけた植生調査は、調査する人によって誤差が大きく、今年から写真ですることになりました。以前の調査地点の中から、「乾燥地」「水没地」「その中間」の3地点を選び毎年同じ時期(咲き始め)に記録いたします。以前の記録は保管し参考にいたします。

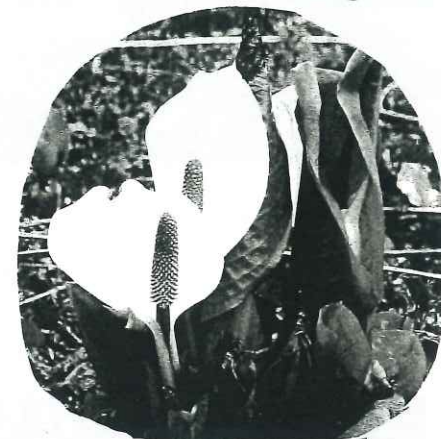
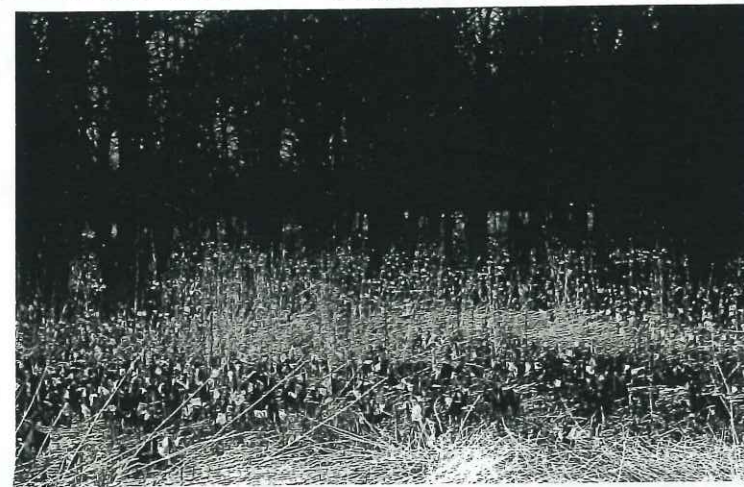


写真 佐藤正博
文責 清水晶子 編集 清水 敦



何してるの？ 清水代表が保全地のおきのところのミスとオスを説明している
水芭蕉とほげの関係をいぬ
遊歩道原全林のよし原と水芭蕉



備考
1,000円×51名
NGK オホーツク様より
通帳利息
備考
資料作成費 コピー代
切手
食事代補助
お茶代、文房具
収入合計—当期支出合計

年会費 1000円
納入 どうぞよろしくお願ひ
致します。
振込先 02730-3-20099
「網走湖・水と緑の会」
4月21日(土)又は22日(日)8時から
5.6A
お盆 今年から水芭蕉の種を
採集し、育苗の実験に
かかります。
網走市、開発局への協力

備考
1,000円×50名
備考

ミズバショウを保全

市民、企業も協力

水と緑の会水の滞留も手がけ



【網走】網走湖畔のミスバショウ群生地が、純白の仏炎苞を広げてミスバショウが開花し始めた。この冬は雪が多く、開花は遅れ

市民、企業も協力
水と緑の会水の滞留も手がけ

市呼人にあるミスバショウ群生地の保全に、水と緑の会(清水晶子)が21日、群生地を整備した。

会員や市民など約20人が集まった。地域の環境保全に協力しようと、NGKオホーツクからも7人が参加した。参加者は群生地内に入り、落ちているごみを拾い集めた。雪がすつかり解けた群生地には空き缶やペットボトル、発泡スチロールなどがところどころにみられ、参加者は細かいごみもいねいに拾っていた。

また、ミスバショウは水辺に生育することから、水が滞留するよう枯れ枝や枯れ草を集

ミスバショウ群生地を整備、清掃する参加者

2012/4/21
【網走】網走湖畔のミスバショウ群生地が、純白の仏炎苞を広げてミスバショウが開花し始めた。この冬は雪が多く、開花は遅れ

気味だった。20日、網走の呼人探鳥遊歩道で、湿地帯に広がる人半島から大空町の女葉樹林に暖かい日差しが降り注ぎ、野鳥のさえずりが響いて、春の訪れを感じられた。網走湖周辺には、呼人前9時から水と緑の会(清水晶子)の調査を行う。(高田純一)

ると52羽との群生地と呼人の国の群生地

